

(無限大)

可能性は ∞

# 図書館からのがん情報発信

大分県立図書館 サービス課 長谷部京子

## “大分県”を紹介します

- 「アジアの玄関口」・・・九州の北東部に位置
- 「おんせん県」・・・別府温泉や由布院温泉など、全国的にも有名な温泉地



総面積	6,340.70km <sup>2</sup> (平成27年10月1日現在)
人口	1,164,873名 (平成28年2月1日現在)
世帯数	485,578世帯 (平成28年2月1日現在)
市町村数	18市町村 (14市3町1村)
公立図書館数	32館 (玖珠町・姫島村を除く)



## “大分県立図書館”を紹介します

### ●概要

明治35年 「大分県共立教育会附属大分図書館」として創立  
 明治37年 福沢諭吉の遺徳功績を記念し、「福沢記念図書館」として新築・開館  
 昭和 6年 県立に移管、「大分県立大分図書館」と改称  
 平成 7年 現在地へ移転、新築(「豊の国情報ライブラリー」(図書館、公文書館、先哲史料館))  
 「大分県立図書館」と改称



延床面積	23,002.22m <sup>2</sup>
蔵書冊数	1,156,001冊
年間貸出冊数	805,150冊 (平成26年度:個人貸出資料数全国第6位)
入館者数	482,120人 (1日約1,500人)
レファレンス数	27,716件

※数値は平成27年度実績

マスコットキャラクター  
“ぺんちゃん”



## 大分県立図書館の運営方針

### ●基本方針

「広域性」及び「専門性」をコンセプトに、  
 県立図書館としての役割として、  
**「県立ならではの」、「県立らしい」**

### 図書館サービスの提供

「広域性」・・・県民だれでもどこでも同じサービスを受けられる  
 全県サービスの展開

「専門性」・・・専門的資料の充実・活用、職員の専門性の向上



# 大分県立図書館の5つの柱

- ① 県民の調査・研究活動への貢献
- ② 市町村立図書館、地域読書グループ等支援
- ③ 学校教育支援
- ④ 県民・地域の課題解決支援と多様な学習機会の提供
- ↳ 行政・民間団体との連携事業
- ⑤ 新たな図書館サービスモデルの構築・実践・検証・普及

# 行政・民間団体との連携事業

(各種セミナー・講演会・相談会の開催、情報・資料提供コーナーからの情報発信)

連携分野	連携先
ビジネス	大分県、大分県中小企業診断士協会、日本政策金融公庫、大分県よろず支援拠点、ジェトロ大分貿易情報センター、ハローワーク、大分県総合雇用推進協会、おおいた地域若者サポートステーション
法律	法テラス大分、大分公証人合同役場
医療・健康	大分県、大分県薬剤師会、大分県栄養士会、大分県看護協会、大分県がん診療連携協議会、大分大学医学部附属病院
環境・省エネ	大分県、大分県薬剤師会
国際交流・異文化交流	JICAデスク大分
子ども科学	大分県薬剤師会、JAXA、科学読み物の会

# 医療・健康分野の情報発信

## ●平成25年11月 「1日まちの保健室」実施

<連携先> 大分県看護協会

<場所> 県立図書館1階 エントランス

- <内容>
1. 健康無料相談(看護師)  
生活習慣病、更年期、禁煙関係 等
  2. 健康チェック  
血圧・体脂肪・血管年齢・身長・体重測定
  3. 進路相談  
看護職への道



【平成25年11月実施状況】



- ・図書館は本を借りるところだと思っていたのですが、こんなこともやっているのですね。
- ・気軽に参加できて、よかった。
- ・自分の健康状態がわかって、よかった。
- ・血管年齢を測ることができて、よかった。
- ・大変よいこころみだと思う。

・また、来年来ます。



健康への関心の高さを実感

「健康相談会」の継続実施



## ●「企画展示」を実施



「始めよう！健康生活」と題し、「がん」などの医療に関連する本や、健康づくりに関連する本などを展示

【ブックリスト】  
・健康・医療  
・闘病記

【告知チラシ】



【図書館入口に展示】



## ●平成26年度から「1日まちの保健室」年2回実施

平成26年5月	骨密度測定の追加
平成26年10月	セミナーの同時開催
平成27年5月	先哲史料館のイベントと同日開催

よりよい相談会を目指して毎回工夫

【平成25年11月実施状況：利用者85名】

【平成27年5月実施状況：利用者**131**名】



## “がん”の情報発信

### ●平成27年11月「がん個別相談会」実施

＜連携先＞大分県がん診療連携協議会  
情報提供・相談支援専門部会

＜開催日＞「1日まちの保健室」と同日

＜場 所＞県立図書館1階 エントランス・研修室

＜内 容＞がんのリスクチェック・個別無料相談  
(看護師・ソーシャルワーカー)  
・エントランス → がん相談ブース  
・研修室 → 個別相談



【平成27年11月実施状況】

●がん相談：8名 ◆保健室：82名



がん相談ブース



がんの個別相談

【平成27年11月実施状況】



- ・気軽に立ち寄れるのが、とても嬉しい。
- ・相談して、話が聞けてよかった。
- ・高齢者にとって大変ありがたい催しだと思う。
- ・笑顔で親切な対応、ありがとうございました。
- ・がんのことが非常に気になる。



- 継続した「がん個別相談会」の実施
- 「がん」に関する講演会の開催



## ●平成28年度から「がん個別相談会」年2回実施

【平成28年5月実施状況】

●がん相談:30名 ◆保健室:124名



うち個別相談者  
1名

【平成28年11月実施状況】

●がん相談:16名 ◆保健室:93名



うち個別相談者  
4名

## ●平成28年8月「緩和ケア講演会」開催

<連携先> 大分大学医学部附属病院緩和ケアセンター  
大分大学医学部附属病院がん相談支援センター

<講師> 大分大学医学部附属病院緩和ケアセンター  
奥田麻酔科医師

- <内容> 「がんの痛みをがまんしない！緩和ケア講演会」
- ・がんに罹患してからの経緯
  - ・がんによる痛みの弊害
  - ・鎮痛手段の紹介
  - ・緩和ケアセンターの役割



【平成28年8月実施状況】



- ・痛みをコントロールできると知り、安心した。
- ・現実に向きあう心構えができた。
- ・大変わかりやすかった。知識が深まった。
- ・がんになる本質的な原因を知りたい。
- ・がんの現状について知りたい。



- 「がん」に関する  
継続した情報発信

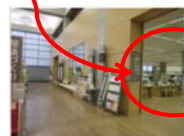


【企画展示】  
ブックリスト配布

# 『健康づくり情報コーナー』の紹介

平成19年  
「生きがい・健康づくりコーナー」の設置

健康に特化した「健康づくり情報コーナー」の設置  
(健康情報・医療・介護など健康づくりに関する資料や闘病記を排架)



図書の蔵書数	約1,900冊
雑誌の蔵書数	13誌
貸出冊数	9,892冊

※数値は平成27年度実績

職員に相談しやすいよう  
調査相談カウンターに  
隣接して設置

## ●「健康づくり情報コーナー」



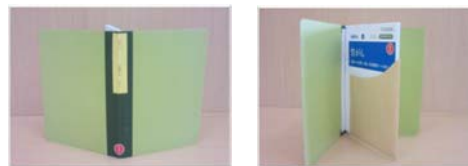
【健康・医療】  
器官やテーマごとに分類

【闘病記】  
病名ごとに分類



## ●「がんの冊子」

<発行> 国立がん研究センター・がん対策情報センター



冊子ごとに装備

## ●相談窓口等の紹介



「がん」無料相談窓口紹介

## ●雑誌・パンフレットの紹介

雑誌は13誌排架  
 ・『がん治療新時代』  
 ・『がんサポート』 など

【パンフレットコーナー】  
 ・がんサポートブック  
 ・がん相談窓口のご案内 など



血圧計を配置

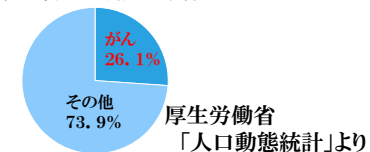


## 大分県の現状

### ●死亡原因第1位は「がん」

昭和56年から死亡原因第1位  
 死因別死亡割合 26.1% (平成27年)

【平成27年死因別死亡割合】



### ●がん検診受診率

「がん対策推進基本計画」:がん検診の受診率を50%以上(胃・肺・大腸は当面40%)

平成25年	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
大分県	40.0	35.9	41.8	36.9	36.7
全国	39.6	37.9	42.3	34.2	32.7

(%)

国立がん研究センター「がん登録・統計」より (受診率の算定40(20)~69歳数値)

## 図書館からのがん情報発信

いつでも、だれもが、  
 最新のがん情報を得られるために

“可能性”は  
 無限大！

最新のがん情報をもつ  
 「医療機関」

+

だれもが気軽に利用できる  
 「図書館」

- ・「がん個別相談会」の継続開催
- ・講演会・セミナーの開催
- ・正しい知識と情報の提供
- ・がん相談窓口の紹介 など

「がん検診受診率」向上

健康寿命向上

ご静聴ありがとうございました！

